

令和5年度 廿日市市立大野東中学校 学校経営計画

広島版「学びの革新」アクションプラン(本県教育の基本理念とめざす姿)
 ≪基本理念≫ 広島で学んで良かったと思える 広島で学んでみたいと思われる 日本一の教育県の実現
 ≪目指す姿≫ 一人一人が、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造する人づくりの実現
 ◇「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」として
 「自己を認識し 自分の人生を選択し 表現することができる力」の育成をめざす

廿日市市教育振興基本計画
 ≪基本理念≫ 「ふるさと廿日市」に愛着と誇りをもち、未来を担う人づくり
 ◇「社会が変化しても、直面する課題の克服に向けた幅広い知識と柔軟な思考力を有し、自立した一人の人間として、他者と協働しながら、力強く社会を生き抜いていく力」の育成をめざす。

【校訓】

「友あり 声あり 意気あり」

ミッション

地域の資産となる人材の育成

ビジョン

「学んでよかった」「学ばせてよかった」「あつてよかった」「働いてよかった」と思える学校

【学校教育目標】 「夢と志をもち、地域に貢献できる生徒の育成」

めざす生徒像

- 自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することのできる生徒
 - ・ 自他を認め合う生徒 ≪自己有用感≫
 - ・ 夢や目標に向かって努力する生徒 ≪自己指導能力≫
 - ・ 共に学び合う生徒 ≪表現する力≫

めざす教職員像

- ・ 社会の中で範を示すことができる教職員
- ・ 組織で協働し、学校運営に参画する教職員
- ・ 専門性を研鑽し、意欲的に仕事を行う教職員
- ・ 傾聴姿勢で生徒に寄り添い、鍛える教職員

本校で身につける資質・能力

自他を認め合う

自己有用感

積極的な生徒指導や全員参加の授業を通して、生徒のモチベーションアップを図るとともに、生徒が相互に認め合う集団づくりを行うことにより、生徒の自己有用感を育成する。

夢や目標に向かって努力する

自己指導能力

生徒が自ら考え選択・決定し、実践する場を設定することを通して、自分自身と向き合い、夢や目標に向かって努力する自己指導能力を育成する。

共に学び合う

表現する力

授業改善を図り、主体的・対話的で深い学びの実践を通して、伝える先を意識した学習により、生徒の表現する力を育成する。

【研究主題】

「生徒が活躍する教育活動の創造」 ～「ファシリテート」で生徒の主体性を引き出す～

授業づくり

①課題発見・課題解決型の単元の充実

- 教材との出会わせ方の工夫
- 生徒の課題意識につながる「めあて」「まとめ・振り返り」の工夫

②思考力・判断力・表現力を高める授業の創造

- 発問・切り返しの工夫(本質的な問い)
- 必然性のある話し合い活動の設定
- 表現する活動の充実
- ICTの効果的な活用

③学習に向かう姿勢の定着

- 「授業始め・終わりのあいさつ」「聴き方」「話し合い方」の指導, 質の向上



集団づくり

- ① 認め合う学級集団づくり
- ② 異学年集団づくり
- ③ 生徒主体の活動づくり

基礎学力の定着

- ① 学力調査の分析
- ② ICTを活用した学習の充実
- ③ 学習の習慣化